

地域と医療で咲くコミュニケーション

# あまが咲

2014. 12.

No. 7

県立尼崎総合医療センター(仮称)

## だより

### [各科紹介]

眼科  
放射線科  
乳腺外科

新病院に向けてリレーメッセージ  
診療部長から

### コラム

誤解しやすい病院の言葉



西日本最大級の新西宮ヨットハーバー(西宮市)  
～クリスマス・イルミネーション～



眼科

# 最高水準の診療であらゆる 眼疾患に対応し、高いクオリティ オブビジョンを目指します

眼科全般の領域にわたり診断と治療を行っております。白内障、緑内障などの一般眼科に加え、伝統の網膜硝子体疾患や涙道疾患など近隣施設ではあまり対応していない領域についても専門的な診療や治療を行っております。最新式OCT(光干渉断層撮影)などの検査機器や27G硝子体手術システムなどの最先端の手術機器で常に高水準の診療ができるよう心がけております。

県立塚口病院  
眼科科長

## 宮崎 千歌

日本眼科学会認定  
眼科指導医、眼科専門医  
光線力学的療法認定医  
涙道涙液学会理事  
兵庫県東部眼科医会理事  
尼崎市眼科医会理事



県立尼崎病院  
眼科科長

## 王 英泰

京都大学医学博士  
日本眼科学会認定 眼科指導医、眼科専門医  
臨床研修指導医養成講習会修了  
光線力学的療法認定医  
兵庫県東部眼科医会理事  
尼崎市眼科医会理事



### 眼科の診療紹介

- ◎**網膜硝子体疾患の診断**:多彩な病態のためμm単位の画像診断が不可欠で、最新式の高深達OCTを県下でいち早く導入し最高水準の診断を行っております。
- ◎**低侵襲手術**:極小切開で低侵襲の27G硝子体手術システムを県下で最も早く取り入れ、良好な手術成績を上げております。
- ◎**涙道診療**:涙道内視鏡、鼻内視鏡を使った最新の涙道診療をしています。涙嚢鼻腔吻合術の件数は全国一を継続しています。
- ◎**斜視弱視診療**:視能訓練士が、医師の指導のもと検査や訓練を行っております。長期にわたる指導、経過観察が必要な患者さんも多く、小児診療においては家族の心の支えにもなっています。

### 対象とする疾患

- ◎**加齢黄斑変性**:抗VEGF療法や光線力学的療法で治療を行います。
- ◎**黄斑円孔、黄斑上膜**:最新式の極小切開硝子体手術で治療を行います。
- ◎**裂孔原性網膜剥離**:極小切開硝子体手術や強膜バックリング法で治療を行います。
- ◎**網膜下血腫**:ガス注入で改善しない場合には極小切開硝子体手術により早期の血腫除去を目指します。
- ◎**成人涙道疾患**:手術治療が必要な場合には内視鏡を使用し涙管チューブ挿入術、涙嚢鼻腔吻合術などを施行しています。
- ◎**小児涙道疾患**:内視鏡をふくむ検査を施行し、診断、治療、指導しています。
- ◎**斜視弱視疾患**:小児、成人共に眼鏡装用等の指導、必要に応じて手術治療を施行しています。
- ◎**眼瞼疾患**:眼瞼下垂、眼瞼内反症の手術治療をしています。
- ◎**眼瞼痙攣、顔面痙攣**:ボトックス注射治療をしています。



左から：佐藤医師、廣瀬医師、内海医師、王医師、平島医師、守屋医師



前列左から：長谷川医師、竹谷医師、宮崎医師、平島医師

放射線科

# 画像という媒体を通して 統合的に診療する総合診療科

私たち放射線科医はCTやMRI、放射線同位元素などを用いて最先端の画像診断を行っています。また、画像誘導下で行うカテーテル治療(IVR)や放射線治療も行います。画像診断医は、患者様の病歴や症状を確認しながら、画像診断報告書作成を作成します。放射線治療医は放射線治療計画を専門に行います。来年はいよいよ新病院がオープンします。新病院では放射線センターの中に画像診断科と治療科が別々の科として仕事を分担するようになります。画像診断医は診断を専門に、治療医は放射線治療を専門に行い、より高度な医療に挑戦します。

県立尼崎病院  
放射線科部長

奥村 節子

日本医学放射線学会  
治療専門医

## 放射線科の紹介

画像診断医は、CTやMRIなどの画像をもとに、患者の病態や既往症との整合性を確認しながら診断レポートを作成しています。また、IVRでは腫瘍の破裂や外傷などによる出血のコントロールを行ったり、腫瘍血管に直接抗癌剤を投与したりしています。放射線治療医は、主にがんを扱います。がんの病巣に放射線が均質にあたるようコンピューターを用いて照射方法を決定しています。

## 対象となる疾患

放射線科医は、普段は患者さんと直接お会いすることはありません。各診療科からの依頼を受け画像診断を行っています。画像診断では、ほぼすべての疾患が診断の対象となります。IVRでは主に肝腫瘍の治療をしています。様々な理由で出血がコントロールできないときにカテーテルを用いて塞栓術を行うこともあります。放射線治療医は、主にがんの治療を行っています。放射線による副作用を最小限にとどめながら、どの部位にどれくらいの放射線をあてればがん細胞だけをやっつけられるかを検討し治療していきます。

県立尼崎病院 放射線科科長

木村 弘之

日本医学放射線学会 診断専門医  
検診マンモグラフィー読影認定医



左から：澤田医師、乗本医師、木村医師、奥村医師、福富医師



松原医師  
川端医師(現在休職中)

# チーム医療で最高の 乳腺外科診療を提供します

近年、わが国では乳がん患者数が増加していますが、一方で乳がん診療も急速な進歩を遂げています。当科では、乳がんの早期発見による予後の向上、根治性と整容性のバランスを考慮した手術、最新のエビデンスにもとづいた薬物療法や放射線療法の実施を心がけ、各科・各部門スタッフと連携して最高水準の乳腺外科診療を提供しています。また、治療だけでなく患者ケアについてもチーム医療でサポートしています。

## 対象とする検査・治療

### マンモトーム生検

マンモグラフィでの微細石灰化例や、腫瘍の非触知例などに対して行い、乳がんの早期発見に努めています。

### 乳房温存手術と乳房再建手術

乳がんの手術では、根治性と整容性の両立を重視し乳房温存手術を基本としていますが、乳房全摘術が必要な場合には形成外科と連携して人工物あるいは自家組織（広背筋や腹直筋）を用いた乳房再建術も行っています。最新のセンチネルリンパ節生検蛍光法を導入しています。

### 薬物療法

診療ガイドラインに沿って、最新の内分泌療法、化学療法、分子標的療法を行っています。腫瘍径が大きい場合は、積極的に術前薬物療法を施行しています。

## 対象とする疾患

### 乳がんと転移再発乳がん

生存期間の延長と患者QOLの向上を目指して治療とケアを行っています。

### 乳がん以外の疾患

乳腺良性腫瘍、乳腺症、乳腺炎についても診療を行っています。

## チーム医療

乳がん術後のリンパマッサージ、リハビリ指導や薬剤指導など、チームで患者様をサポートしています。

県立尼崎病院 乳腺外科科長

澤田 尚

日本外科学会専門医



県立塚口病院 乳腺外科科長

諏訪 裕文

京都大学医学博士／日本乳癌学会乳腺専門医・指導医  
日本外科学会専門医・指導医  
日本消化器外科学会専門医・指導医



清水医師(左)と諏訪医師(右)



新病院に向けて

診療部長から



## リレーメッセージ

### 尼崎病院・塚口病院の終わりは統合新病院の始まり



県立塚口病院 副院長 兼 診療部長 永井朝子  
県立尼崎病院 診療部長 平林正孝

#### ▶ 専門的医療と総合的医療の両輪にて、高度医療を提供します！

平成27年7月に730床の大病院が、尼崎に誕生します。充実した施設や最新の医療機器・設備を有し、三次救急医療のみならず多診療科にわたる**高度専門医療**に支えられた大きな総合力を有する病院です。

これまで、尼崎病院と塚口病院に分かれていた診療機能が統合され、必要診療科の強力なバックアップの下に、大人(男性・女性)と子どもの双方が幅広い診療分野において**高度専門医療**を受けられる体制が整います。循環器・がん・脳卒中・消化器・呼吸器・生活習慣病各センターに加え、臨床研究を終えた最先端医療を実施する先端・再生医療センターを設置し、最新医療の進展にも貢献して参ります。一方、大病院には不可欠の総合診療センターも設置し、専門的診療と総合的診療の橋渡しがスムーズに行われるよう充実を図ります。

#### ▶ 阪神南・北地域のマグネットホスピタルとして

人員面では、診療部は研修医38名を含めた総医師数300名以上の大所帯となります。指導医層も厚く、症例数も豊富でこれからの医学・医療をリードする若い医師の研鑽の場として最適な環境が整います。阪神南・北地域の**マグネットホスピタル**として、最高の医療提供と医療人の育成を実践してまいります。

また、地域の基幹病院として、患者様には24時間365日、各診療科が互いの連携を行い、適切な診療を提供させて頂きますが、必要に応じて他の地域医療機関への紹介もさせて頂きますことをご理解そしてご協力をお願い致します。

両病院の医師一同、これから統合に向けて益々連携を深め、協力して準備を進めてまいります。

#### 次号予告

次号は、  
「県立尼崎病院 兼 県立塚口病院  
臨床検査・放射線部 放射線技師長  
竹中達明」からのメッセージです。

### 病院の開院予定時期、平成27年7月に決定！

県立尼崎総合医療センター(仮称)については、これまで、平成27年5月開院を目的に整備を進めてまいりましたが、重症の患者様に対応する集中治療系を中心に大幅な機能充実を図った中で、万全の体制で開院を迎えるため、この度、開院時期を**平成27年7月**に決定しました。

県民の皆様のご期待に沿うことができるよう、全力で取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。 県立尼崎病院 総務部(新病院担当)



お知らせ

兵庫県立尼崎総合医療センター(仮称)  
Facebook ページを開設しています。

兵庫県立尼崎総合医療センター フェイスブック

検索



Find us on  
Facebook



してね！



## 兵庫県立尼崎総合医療センター(仮称)の ホームページが開設されました!

「病院らしくない」  
トップ画面



ポイント1

### 1 ホームページは病院のもうひとつの顔です

平成27年7月開院を目指して準備が進んでいる県立尼崎総合医療センター(仮称)ですが、新病院のホームページを開設いたしました。

URLは<http://agmc.hyogo.jp/>です。

ポイント2

### 2 コンセプトは、使う人の立場に立って見やすく使いやすいこと

病院のホームページをみると、多くの情報が小さな文字で所狭しと並んでいて、どこを探せば良いのか困る経験はありませんか? 確かに、どれもが皆さんに伝えたい重要な情報であることは確かです。しかし、いざ使おうとすると情報取集に時間がかかることがあります。

新病院のホームページでは、トップページを出来るだけシンプルにして目的の情報に早くたどり着けるようにしました。また、ページをめくる際にも項目ごとに色分けをして、見やすくわかりやすいように心がけました。一見するとトップページは、「病院らしくない」雰囲気です。

ポイント3

### 3 写真、動画等を積極的に導入

受診案内、病院内の設備や部門紹介において、写真や動画を積極的に導入することで、一目見てわかるように、またスタッフの顔が見えて親しみやすいようにしました。

来春予定

ポイント4

### 4 随時更新し、迅速な情報提供を行います

病院から情報は、日々刻々と変化します。その変化に対応するために、ホームページの更新は迅速に行い、最新の情報を掲載します。

現在、新病院建設の進捗状況もアップしております。是非一度ご覧ください。

## 誤解しやすい病院の言葉

シリーズ  
No.6



医療者が病院で使用する病状や病名などの医学用語には、一般の皆さんが日常生活で用いる言葉と意味合いが大きく異なったり、馴染みのないものがあります。

### 【ADL (エーディーエル: Activities of Daily Living)】

今回の語句は、誤解しやすい言葉と言うよりは、皆さんにとって、あまり馴染みのない言葉と言うべき医療用語ですね。アルファベット略語でもあり、ある報告によると、その認知率は約30%と低く、その意味を理解されている方は、さらに極めて低いようです。

Aは、「動作」を、DLは「日常生活」の意味で、寝起き・移動・トイレ・入浴・食事・着替えなど、『日常生活を送るのに最低限必要な日常的動作』を意味します。高齢者や身体障害者の身体能力や障害程度を図る重要な指標で、介護保険制度では、これらの日常動作を「できる・できない」で評価し、その人の介護レベルを決めます。

### 編集後記

今年も残すところ後わずかとなりました。年末はクリスマスや忘年会などのイベントがあったり、大掃除や年賀状書き、お正月の準備など慌ただしい日々が続きますね。インフルエンザや風邪が流行る季節でもあり、街中ではマスクをしている方の姿を目にすることが多くなってきました。みなさんも手洗いうがいなどをしっかり行い、体調に気をつけてよいお年をお迎えください。(塚口病院 S.Y)



### 兵庫県立尼崎病院

〒660-0828 兵庫県尼崎市東大物町1丁目1番1号  
TEL 06-6482-1521(代表) FAX 06-6482-7430  
<http://www.amahosp.amagasaki.hyogo.jp/>

兵庫県立尼崎病院

検索



### 兵庫県立塚口病院

〒661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町6丁目8番17号  
TEL 06-6429-5321(代表) FAX 06-6422-7405  
<http://www.tsukaguchi-hospital.net/index.html>

兵庫県立塚口病院

検索